



12月のゆうゆうカフェは23日にOPENしました。今回は、7名の方が利用して頂きました。そのうち市内在住のSさん(70歳)は、初めてゆうゆうのカフェに参加していただきました。若いころのお仕事のお話や、9月にはラン伴にも参加されたお話をして下さいました。とてもお元気で、認知症と上手に付き合っておられいきいきと毎日を生活されていらっしゃいました。私たちもとても勉強になりました。



認知症の周辺症状への対応ワンポイント

「弄便(ろうべん)」(月刊デイ2018.10月号より抜粋)

弄便(ろうべん)とは、排泄物である便を適切に処理できず、手で触り別の所へこすりつけたり、色々なものを触ってしまったりする状況の事を言います。

認知症の進行とともに、様々な理由でこのような状況が起きてしまう事があります。しかし、これには理由があるのです。

認知症が進行してくると、「快」「不快」の感覚が残存機能(残された機能)としてより敏感になってきます。そのような状態で便失禁があると、お尻のあたりが気持ちわるく、自然と手で触ってどんな状態になっているのか確認するのです。

今月のおやつ



にんじん蒸しパン

そこで、対策として、①排便日誌をつけ、排便のパターンを把握する。そろそろ排便がありそうだという時に声掛けをしてトイレへ誘導することも大切です。②トイレに行った時に「便は出そうにないですか?」と声かけする。③不快な時間を出来るだけ少なくする。オムツの中で便が皮膚に触れている時間を出来るだけ短くすることが大切です。④失敗があっても共感しおおらかな気持ちで接する事。認知症の方は自分で不快な状態を何とかしようとした結果の状況なのです。それを怒鳴ったり問い詰めても意味がありません。不快であったことに共感し、手を一緒に洗い部屋の片付けをすることをこころがけましょう。



ゆうゆうカフェ 12月のスタッフです。今月もご利用ありがとうございました。クリスマスという事もあり、色々なお話ができて楽しかったです。またのお越しをお待ちしています!

〈ゆうゆうカフェ今後の予定〉

毎月第4日曜日開催

【次回開催日】

1月27日(日) 午後1時~午後3時

2月24日(日) 午後1時~午後3時

【ゆうゆうカフェ問い合わせ先】

介護老人保健施設ゆうゆう

認知症カフェ事務局(担当:今村、城下)

電話 0265-53-6048